（施設所管課記入様式）

歴史とスポーツふれあいセンター及び堂山古墳群史跡広場　内部評価結果
（施設所管課による評価）

【評価対象施設】歴史民俗資料館・ふれあいルーム・四条体育館・四条グランド・堂山古墳群史跡広場
【指定管理者名】株式会社　アステム
【評価対象年度】令和６年度
【施設所管課名】産業・文化部　生涯学習課、スポーツ振興課

業務内容についての評価
管理・運営は条例・協定書に基づき適正に行っておられます。 歴史民俗資料館においては、展示・展示関連事業については予定通り、春季、夏季、秋季、冬季の４回の企画展を実施され、各企画にあわせた講習会、シンポジウム、展示に関連した読み聞かせ会、市内施設での出張展示、ワークショップ、現地見学会や YouTube 配信などをされました。特に、春季展では全国的に有名な大塩平八郎と野崎観音の関係を取り上げ、夏季展では平野屋新田会所に関する最新の研究成果を取り上げるなど、意欲的な展示が行われたことを評価します。秋季展は昔の写真を中心に実施し来館者の方から高評価を得られており、冬季展についても学校との連携を図り積極的に見学の受け入れが行われました。年間を通じての一般来館者は前年度より増加していますが、今後も猛暑による影響を受ける可能性が高いことから、このことを十分考慮し、今後の運営にあたって頂きたいと思います。 市民学芸員活動については、８チームに別かれ独自の活動に取り組まれました。市民学芸員全体の例会も行われ、学芸員体験講座も全９回開催し、新規の市民学芸員の養成に取り組まれておられます。今後も、生涯学習課や様々な施設・団体と連携しながら、幅広い世代の市民に関心を持っていただくため、様々な地域・時代を取り上げた展示や講座等を企画・実施するとともに、市民参加型のワークショップ等の事業についても積極的に取り組まれることを期待します。 堂山古墳群史跡広場については、東部図書館と合同で「手作りランタンで夜の古墳探索」を開催され、史跡の PR に努められました。来年度に向けて市民からのニーズがある「堂山古墳群のひみつ（平成２４年度特別展図録）」の再発行に向けて準備を進めておられ、今後も、堂山古墳群の存在と歴史的価値を広く市民に伝え、郷土愛を育む取り組みを推進していかれることを期待します。 今後も利用者のニーズを的確に把握し、幅広い世代を対象にした体験事業や講座等に取り組まれることを期待します。 生涯学習事業では、消防署やネウボランドだいとう、都市政策課、公民館、東部図書館、四條畷学園大学などと連携した生活や健康に密着した事業に取り組まれ、いずれも参加者から高評価を得られているようです。特に、施設全体を利用した市民団体等との協力事業として「野崎プロレス×のざきフェス 2024 in 来ぶらり四条」と「アートイベント絵の具で 遊ぼう!!大東市編」など、新しい取り組みを実施され多くの反響と参加者があったと伺っており、今後も、チャレンジされていくことを期待しています。

体育施設では、個人で参加して他の参加者と試合を行うことや、個人同士で試合を行うといった個人参加型スポーツ事業をバスケットボール、フットサル、卓球などの競技で実施するとともに、スポーツを通じた参加者の交流機会の場を提供する取り組みもされていました。一方、スポーツを再開するきっかけづくり、親子参加型の事業として「室内スポーツ盛り合わせ」「チャレンジバスケットボール」「親子バスケットボール」を実施し、スポーツの楽しさ、関心を持つことへのきっかけづくりにも取り組まれていました。これらの取り組みは体育館の利用率が前年比３％増、利用者数は約１，９００人増、グラウンドの利用率が前年比６％増、利用者数は約１，９００人を記録したことからも窺うことができます。これからも多くの利用者が体育館・グラウンドを利用することにつながるスポーツ事業の実施を展開されることを期待します。

施設維持保全業務や施設修繕については、仕様書にもとづき適正に実施されていました。建物の老朽化が進行しているため、修繕必要箇所の把握と迅速な復旧修繕を行うとともに、利用者に安全快適に使用していただけるよう備品等の日常的な点検についても遺漏なく行ってください。

利用者満足度について評価

利用者アンケートでの施設全体の総合評価では、満足・やや満足・普通を合わせて、令和４年度が７８％だったのが令和５年度は９５％、令和６年度は９８％と年々向上しており、指定管理者として利用者満足を得るためにサービス向上など多面にわたり努力されていることが伺えます。この結果に満足せず、特に普通の２２％のグループを、満足・やや満足と答えてもらえるように、今以上のきめ細かな施設の維持管理に努めて頂き、利用者ニーズを分析し新しい利用者サービスの導入を実施されることを期待しています。また、今後もリピーターに満足していただけるような質の高い事業を実施するとともに、館内掲示の強化や SNS 等を活用した情報発信により、施設の認知度の向上と新規利用者の増加に努めてください。

利用者アンケートで、施設の利用目的の７割が体育館、グラウンド利用との結果となっています。この結果と比例するように設備・備品の要望に関する利用者アンケートでは、体育館・グラウンドに関わるものが多くあります。指定管理者におかれては、要望をもとに設備・備品の必要可否を精査し、市と連携して一つひとつ実現するよう努め、サービス向上を目指してください。

また、体育館・グラウンドについては、設備の不備が大きな事故につながる可能性がありますので、設備の点検・管理を徹底し、安全で安心なサービスを利用者に提供できるように努めてください。

収支状況について評価

収入につきましては、利用料金、駐車場利用料金や事業収入が増加し、指定管理料との合計収入は増加しています。

支出については、物価や人件費の上昇で清掃・警備・保守点検などの費用の増加と、円安による燃料費の上昇や猛暑による空調設備の運転による光熱費の上昇などの要因で物件費は増加しておりますが、人員の適正配置により人件費の節減に取り組んでおられます。

これらの結果、令和６年度は黒字となっておりますが、令和７年度も人件費や光熱費等の物価上昇が予想されますので、稼働率向上による増収を図りながら、引き続き健全な収支決算となるよう努め

てください。
総合評価
本市の文化・歴史に対する市民の誇りを醸成し、次世代に継承していくうえで、歴史民俗資料館の役割はきわめて重要です。令和６年度は前年度と比較して来館者は横ばい状態といえますが、指定管理者がこれまで蓄積してきた豊富な経験とノウハウを活かし、幅広い世代を対象にした企画展・講座や市民学芸員活動、他施設・学校等との連携事業を実施されたほか、学校との連携を積極的に取り組まれたことを評価します。また、当該施設は、国史跡飯盛城跡のガイダンス施設の機能の一躍を担っていることから、大東市や関係団体とも協力して充実を図ってください。 今後も、常設展示の定期的な更新や情報発信の強化により、リピーターだけでなく新規来館者にもまた来たいと思っていただけるよう努めてください。 また、ふれあいルームでは、創意工夫による自主事業を行った結果、参加者から高評価を得ることができました。今後も、生涯学習に対する市民のニーズの把握に努め、関係施設・団体とも連携しながら、幅広い世代に満足していただける魅力的な事業を展開されるとともに、ＳＮＳ等を活用した情報発信を強化することにより、新規利用者の増加にも一層努めてください。 体育館・グラウンドの利用率及び利用者は、ともに前年度を大きく上回る結果となっており、これはは、個人参加型、親子参加型、サッカーでのプロスポーツ選手を交えたスポーツ事業などを積極的に展開されていたことが寄与しているものと判断し、評価いたします。また事業運営にあたり、市民ボランティアと協働して地域と密着した形で行っていたことは、指定管理者が地域に根付くスポーツ振興にも取り組まれていたことと判断し、評価します。 しかしながら、体育館・グラウンドの利用率及び利用者数を比較すると、体育館の利用率及び利用者数はグラウンドの約２倍近くとなり、この格差が気になります。指定管理者においても把握しているものと思いますので、グラウンドの利用率及び利用者数が少しでも体育館が記録している利用率及び利用者数の数字に近づく取り組みを期待します。 体育館・グラウンドは、地域のスポーツ振興の拠点、市民交流の場として利用されている施設です。このことを念頭に置かれ、利用者のニーズに対して実現できることから一つひとつ応え、体育館・グラウンドが今以上に賑わいのあるものにされていくことを期待します。